

陸上競技（短距離）プログラム報告 2014年1月25日（土）中村 泰雄

一年で一番寒い時期に入りました。年間最低気温の多くがこの時期（一月下旬～二月上旬）に集中します。アメダス越谷の今朝八時の気温は -0.3°C で、正午に 8.3°C でした。天気予報の言う三月末の暖かさには程遠い、寒いプログラムのとはなりました。

配布プリントはこの時期に赤い実を付ける一両、十両、百両、千両の見分け方です。B5版の用紙を縦に使い、上辺中央にタイトル（福祉村の実は何両？）を書く所までは何時もと同じですが、その下は左辺に一両～千両の四枚の画像を縦に並べ、その右に解説文を載せています。お分かりでしょう。アスリートたちには、プリントを頼りに、ジョギングコース沿いで赤い実を付けている木が何両なのかを当ててもらおうということです。

例によって私はウォーキングがスタートするのを待って、ウォーキングとは別コースで、『？両の木』の現場に向かいました。現場はジョギングコースの900m表示の先のアウト側、前回のプログラムで見た南天と向かい合う位置に在ります。

ここで待つこと十分弱、先頭が見えてきました。先頭は何時も通りのSS君です。ただし今回はMT君と一緒に。集団はその二十メートルほど後ろに続いて来ました。

私は集団を問題の木の前に導いてこの木の注意すべき特徴（葉の縁がギザギザになっていること。実が葉の上で上向きに生っていること等）を説明しました。この時コーチの中から声が上がりました。

『千両！』

正解です。これを良い潮と再スタートしてもらいました。

ウォーキングの後は2000を走り、その後はSONS駅伝の区間距離を意識して、襷をかけて1000と400を走り、最後は襷の受け渡しの練習をして、11時30分、大阪PCのリードで体操をした後に、アスリート全員でエールを叫んで寒い²プログラムを終わりました。